

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2022年度 パフォーマンス向上会議情報(2022年8月4日(木)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2022年8月4日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

| 番号 | 不適合内容 | グレード | 発見日 |
|----|--|------|-------|
| 1 | 【乾式キャスク仮保管設備のキャスク受入作業における協力企業作業員の負傷について】 乾式キャスク仮保管設備のキャスク受入作業に従事していた協力企業作業員が、梯子から降りる際右足を踏み外し、左ひざを捻った。 その後、左ひざに痛みを感じたため、救急医療室に入室。 救急医療室において、左ひざ靭帯損傷の疑いと診断され処置を受けた後に、医療機関へ業務車で搬送。 医療機関にて、左膝内側側副靭帯損傷と診断。 今後、再発防止対策を検討。 | GⅢ | 8月1日 |
| 2 | 【多核種除去設備保守管理業務における協力企業作業員の体調不良について】 協力企業作業員が多核種除去設備保守管理業務終了後、入退域管理棟に戻ったところ、体調不良(吐き気あり)になり、救急医療室入室。 救急医療室において、脱水症と診断され、処置を受けた。 今後、原因を調査し再発防止対策を検討。 | GⅢ | 8月1日 |
| 3 | 【5号機タービン補機冷却水系熱交換器(C)海水出入口弁のシート漏えいについて】 当直員が保全作業のための系統隔離操作を実施していたところ、5号機タービン補機冷却水系熱交換器(C)の海水出入口弁のシート漏えいを確認。 タービン補機冷却水系熱交換器(C)使用時において、当該弁は開で使用するため系統運転に問題なし。 今後、海水系の全停時に合わせて当該弁を点検、修理予定。 | GⅢ | 7月25日 |